

2025年3月10日

京都府知事 西脇 隆俊 殿

日本野鳥の会京都支部
支部長 船瀬 茂信
〒601-8047 京都市南区東九条下殿田町 50
アサダ観光ビル 2階 CD室

日本鳥類保護連盟 京都
会長 高桑 進
〒616-8211 京都市右京区常盤御池町 21-4

関西ケリ研究会
代表 脇坂 英弥
〒613-0911 京都市伏見区淀木津町 291-201

北陸新幹線京都延伸計画に対する行政勧告行使の要望書

日頃より、私たち野鳥の研究・保護団体の活動に対してご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、2024年8月に国土交通省鉄道局の独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構が発表した「北陸新幹線（敦賀・新大阪間）詳細駅位置・ルート図（案）」によると、京都市の地下を通る新幹線は、久御山町に位置する巨椋池干拓地で地上に出ることになっております。また、トンネル付近に車両基地を建設する計画も示されています。

本計画について、巨椋池干拓地に生息する希少鳥類をはじめとする野鳥などの生物を保全し、生物多様性を維持する観点から、下記の通り要望いたします。

記

トンネルと車両基地の建設予定地である巨椋池干拓地は、京都府有数の豊かな鳥類相を形成する重要なエリアです。特に湿地に生息するシギ・チドリ類の種類が多様で、京都府指定の絶滅危惧種であり、指定希少野生生物として優先すべき保護対象となっているタマシギにとっては、毎年多くの個体が子育てをする、府内有数の繁殖地となっています。さらに、国内の限られた地域に生息するケリの重要な繁殖地でもあり、生態解明のための学術研究の中心地ともなっています。そのほか、ツバメチドリなどシギ・チドリ類だけで計10種類の絶滅危惧種が渡り中継地として利用していることが知られています。

また、猛禽類でも絶滅寸前種のコミミズクをはじめハイイロチュウヒやチョウゲンボウなど絶滅危惧種6種類が生息しており、「野鳥（コミミズク、ケリ等）の生息する巨椋池干拓地」として「京都の自然200選」にも選定されています。

そのほか、当会ではこれまでにオオチドリ、アメリカウズラシギなど全国的にも記録が少なく珍しい希少種を多数記録しており、巨椋池干拓地は「希少鳥類の宝庫」として全国にも知られています。

北陸新幹線京都延伸計画に基づくトンネルや車両基地の建設は、こうした貴重な鳥類相と豊かな生物多様性を大きく破壊し、取り返しのつかない状態をもたらす可能性が高いと考えられます。

以上により、京都府知事として計画の中止を含めた厳しい行政勧告を行っていただくよう要望いたします。

以上